

あきる野市産業文化複合施設の指定管理者について

あきる野市産業文化複合施設「あきる野ルピア」（以下「本施設」という。）については、あきる野市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例第2条第1項第2号の規定により非公募とし、株式会社秋川総合開発公社（以下「公社」という。）に管理を行わせる。

1 指定理由

本施設は、市民の生涯にわたる学習活動の振興を図るとともに、市民相互の交流を深め豊かな地域社会の形成と住民福祉に寄与することを目的に設置しており、本施設及び附属設備の利用に関すること、生涯学習事業の実施に関すること、市内のコミュニティ活動の推進及び地域産業の振興等の事業を行っている。

また、本施設のある建築物については、あきる野市、公社及びあきる野商工会の三者が区分所有する複合施設であり、この三者で「あきる野ルピア管理組合」を組織し、公社がこの管理組合の管理者になっている。このうち、市の施設は、3階の一部と4階である。

一方、本施設のある秋川駅周辺については、あきる野市都市計画マスタープランにおいて、「交流拠点として、大規模物販店や飲食店などの商業施設の導入による集客力を強化し、公共施設と連携した市民の交流、憩い、学習の場の育成を図る。」こととされ、本施設や秋川キララホールなどの公共施設と連携したまちづくり方針が位置付けられている。

公社については、あきる野市、あきる野商工会、あきる野市観光協会秋川支部及び民間金融機関により設立された第3セクターであり、市内の各種公共施設の管理の受託業務や音楽、芸能などの各種催しものの企画、実施運営に関する業務などを目的の一部にしている。また、秋川駅北口で行われている様々なイベントの実施に当たっては、公社が中心となり、市やあきる野商工会（秋川駅北口会等）、関係機関、団体等との連携・協力関係の構築等の役割を果たしながら協働し、秋川駅周辺の活性化を着実に進め、本施設は市民の交流、学習の場として定着してきている。

このような中、本施設については、平成21年度から公社を指定管理者に指定し、管理運営を行っており、休日や夜間の使用申請に対する受付時間を拡大するとともに、利用者から要望の多いプロジェクターなど会議等での必要機材を充実するなど、利用者の利便性の向上が図られている。また、公社は、新たにインターネットのドメインを取得して開設したホームページ上で、施設の空き状況等がリアルタイムで確認できるようにしたほか、日々の施設案内の掲示を紙による表示から、液晶モニターによる表示に切り替えて無駄を削るとともに、リアルタイムな情報提供をするなど、利用者へのサービス向上にも努めている。

こうした取組により、平成21年度における利用状況については、平成20年度と比較して、利用件数で455件、29.58%の増、利用料金で1,585千円、14.57%の増となっている。また、地域産業の振興についても、公社があきる野ルピア管理組合の管理者であることから、指定管理者が行う自主事業において、多様な学習機会の提供とともに1・2階の商業施設との連携が図られ、施設の効率的な管理のほか、秋川駅北口を中心とした地域の活性化や発展に繋がる事業展開が期待どおり図られてきている。

このようなことから、公社については、本施設の指定管理者として市民サービスの向上に努めているとともに、秋川駅北口会や関係団体等の地域住民との連携により積極的に様々なイベントを開催するなど、地域の発展に繋がる事業展開が期待できる団体であり、本施設の管理を引き続き行うことにより、安定した行政サービスの提供と事業効果が期待できるため、本施設の指定管理者とする。